

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和7年度】

2026 年 2 月 24 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 106-003
所在地 東京都港区六本木四丁目3番11号 六本木ユニハウス22
3号

評価機関名 サポート・ネット株式会社

認証評価機関番号
電話番号 03-5655-0851
代表者氏名 三田村 雅敏

機構 13 - 220



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

| 評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号 | 評価者氏名 | | 担当分野 | 修了者番号 |
|--|--|----------------|-------|----------|
| | ① | 三田村 雅敏 | 福祉、経営 | H0202033 |
| | ② | 高木 みゆき | 福祉 | H2201066 |
| | ③ | 酒井 真希 | 福祉 | H2401099 |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| 福祉サービス種別 | 認可保育所 | | | |
| 評価対象事業所名称 | 赤坂クレア保育園 | | | |
| 事業所連絡先 | 〒 | 107-0052 | | |
| | 所在地 | 東京都港区赤坂4丁目9番3号 | | |
| | TEL | 03-6812-9268 | | |
| 事業所代表者氏名 | 遠藤 栄子 | | | |
| 契約日 | 2025 年 5 月 20 日 | | | |
| 利用者調査票配付日(実施日) | 2025 年 8 月 6 日 | | | |
| 利用者調査結果報告日 | 2025 年 10 月 4 日 | | | |
| 自己評価の調査票配付日 | 2025 年 8 月 6 日 | | | |
| 自己評価結果報告日 | 2025 年 9 月 18 日 | | | |
| 訪問調査日 | 2025 年 10 月 8 日 | | | |
| 評価合議日 | 2025 年 10 月 8 日 | | | |
| コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入) | 本評価は、事業者が自らの組織価値観を基盤として主体的に組織変革を進め、独自の強みを発揮する個性ある組織として認知されるための課題を明確にすることを目的として、第三者評価制度に位置づけられています。 評価に際しては、事業者の事業特性や事業環境、組織の現状を踏まえて導出された、事業競争力の向上に資する重要方針について、事業者と評価者が共有しました。 評価者はそれぞれの専門的知見に基づき、重要方針に即した評価の視点を明確にし、全カテゴリーにわたる取り組みとその状況について、総合的かつ多面的に評価を行いました。 | | | |

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2026 年 2 月 19 日

事業者代表者氏名

社会福祉法人 慈光福祉会
理事長 山本 徹彦



| | |
|---|---|
| 1 | <p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)1人ひとりを見つめる保育の実現 2)主体的に生きる力を育む保育の実現] 3)仲良しの心、思いやりの心を育てる保育の実現 4)乳児・幼児の人権に十分に配慮した保育 5)乳児・幼児の最善の利益を考慮した運営</p> |
| 2 | <p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>報連相が出来る事。伝え方伝わり方を気を付ける事。協調性がある事。子どもが真ん中での保育が出来る事。お仕事として社会人としての責任をもちましょう。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子ども一人ひとりの命を預かっているという事を念頭に、日々の保育を丁寧にあったかい気持ちで保育に携わってほしいです。私たち保育者の声掛けが子どもが真似したり影響を及ぼすという事を忘れずに日々対応していけるようになってほしいです。</p> |

調査対象

保育園を利用する園児の保護者世帯を調査対象とし、17世帯から回答を得ました。

調査方法

登降園時に来園された保護者に、職員が第三者評価の説明とともに、アンケート用紙、返信用封筒を配布しました。回答票は評価機関に直接送信・送付する方法を取り、調査分析を行いました。

利用者総数

16

利用者家族総数(世帯)

15

共通評価項目による調査対象者数

15

共通評価項目による調査の有効回答者数

3

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

20.0

利用者調査全体のコメント

「はい」の選択率が3分の2以上あった項目は、問16、以外全てであり、特に、「問2. 園児の興味を引く活動」「問7. 参加しやすい行事日程の配慮」「問9. 園内の清潔度・整理整頓度」「問10. 職員の言葉遣い、態度、服装」「問11. 子どもの健康への職員の配慮」「問15. 保育に関する内容説明の分かりやすさ」の各設問項目については「はい(大変満足)」の回答率が3分の2以上であったことから、保護者の満足度はとても高いことが見受けられます。総合満足度について、満足度は全数(100%、内訳：満足 66.7%、満足 33.3%)であったことから、園に対する総合満足度も高いことが見受けられます。なお、満足度の高い意見が多数寄せられましたが、改善期待の意見も寄せられたことから、園への期待度も高いことがうかがえます。

利用者調査結果

| 共通評価項目 コメント | 実数 | | | |
|---|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%、満足 33.3%、やや満足 33.3%)。園児数と、職員の勤続期間に関する改善期待のある回答が寄せられましたが、回答者の全数が「はい」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 66.7%、やや満足 33.3%)。この設問の保護者からの回答コメントは寄せられませんが、回答者の全数が「はい」を選択したことに加え、2世帯が「大変満足」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%、満足 66.7%)。「具材を細かく切ってくださいのお陰で、給食を食べられるようになった」「いつも栄養たっぷりの美味しい献立で、ありがたい」との回答が寄せられました。食後の歯磨きに関する改善期待の回答も寄せられましたが、回答の全数が「はい」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯中2世帯(66.7%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%、満足33.3%)。戸外活動に関する改善期待のある回答が寄せられましたが、回答者の3分の2が「はい」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 66.7%、満足 33.3%)。「いつもサポートありがとうございます」「時間に関して、お預かり頂いている方に大変助けられており、心より感謝申し上げます」などの満足度の高い回答が寄せられました。回答の全数が「はい」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%、やや満足 66.7%)。回答された保護者から、施設の構造や周辺環境に関する回答が寄せられました。特に、屋内の設備配置や、園周辺の交通状況に関する回答があり、安全面への配慮を求める意向がうかがえます。 | | | | |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 66.7%、満足 33.3%)。この設問の保護者からの回答コメントは寄せられませんでした。回答の全数が「はい」を選択したことに加え、2世帯が「大変満足」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯中2世帯(66.7%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%、やや満足 33.3%)。日々の送迎時の職員とのやりとりに関する満足度の高い回答や、保護者会の実施状況に関する改善期待のある回答が寄せられましたが、保護者の満足度は概ね高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 66.7%、やや満足 33.3%)。「掲示物なども雑多で無く、いつも綺麗で園内の装飾もとても可愛い」との満足度の高い回答が寄せられました。回答者の全数が「はい」を選択したことに加え、2世帯が「大変満足」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 66.7%、やや満足 33.3%)。「大変良く対応してくださる」との満足度の高い回答が寄せられました。回答者の全数が「はい」を選択したことに加え、2世帯が「大変満足」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 66.7%、やや満足 33.3%)。「大変良く対応して下さる」との満足度の高い回答が寄せられました。回答者の全数が「はい」を選択したことに加え、2世帯が「大変満足」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 2 | 0 | 0 | 1 |
| 利用者調査に回答された3世帯中2世帯(66.7%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%、満足 33.3%)。無回答／非該当を選択した回答者から、入園したばかりなのでそのようなことを経験、または見聞きしたことがない旨の回答が寄せられました。回答者の3分の2が「はい」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%、満足 33.3%、やや満足 33.3%)。この設問の保護者からの回答コメントは寄せられませんでした。回答者の全数が「はい」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 66.7%、満足 33.3%)。「写真掲載について、事前にヒアリングがあった」との回答が寄せられました。回答者の全てが「はい」を選択したことに加え、2世帯が「大変満足」を選択したことから、保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 利用者調査に回答された3世帯中2世帯(66.7%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%、満足 33.3%)。この設問の保護者からの回答コメントは寄せられませんでした。回答の3分の2が「はい」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。 | | | | |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 利用者調査に回答された3世帯中1世帯(33.3%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 33.3%)。職員支援体制と、職員の定着状況、園運営に関する改善期待の回答が寄せられました。また、該当するような経験はない旨の回答も寄せられました。 | | | | |
| 17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか | 2 | 0 | 0 | 1 |
| 利用者調査に回答された3世帯中2世帯(66.7%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 14.8%、満足 25.9%、やや満足 3.7%)。この設問の保護者からの回答コメントは寄せられませんでした。回答の3分の2が「はい」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。苦情受付窓口や第三者委員などは、利用開始時等で説明しており、回答した保護者のうち、記憶に留めて理解している方は3分の2となりました。 | | | | |

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

| | | |
|-----|---|--|
| No. | 共通評価項目 | |
| | カテゴリー1 | |
| 1 | リーダーシップと意思決定 | |
| | サブカテゴリー1(1-1) | |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7 |
| | 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当 |
| | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当 |
| | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当 |
| | カテゴリー1の講評 | |
| | 法人理念や園の保育方針などを、多様な媒体で職員と保護者に丁寧に伝達しています 保育理念や保育方針は、全体的な計画や入園のしおりに明示され、昼礼や職員会議を通じて職員に丁寧に共有されています。法人本部から担当者が定期的に来園し、訪問時には理念やビジョンを改めて確認する機会が設けられ、理解の定着に寄与しています。保護者には入園説明会やホームページ、掲示物など複数の媒体を用いて分かりやすく伝えており、園の大切にしている考えを理解していただく仕組みが整っています。今後は、既存の仕組みを活かしながら、これらの取り組みを日々の実践により濃く結びつける取り組みの広がりが期待されます。 | |
| | 経営層は自らの役割と方針を職員共有に努め、組織運営を安定させる体制を整えています 経営層は、自らの役割と責任を明確に示しており、日々の運営を支えるために必要な情報を昼礼や職員会議を通じて丁寧に共有しています。日々の運営状況を把握しながら、各係や担当を組織的に配置し、行事運営や衛生管理、避難訓練などの業務が継続的に実施される体制が整えられており、職員が迷わずに取り組める環境づくりに寄与しています。今後は、既存の仕組みをより効果的に機能させることを視野に入れ、経営層が現場との対話の機会をさらに充実させることで、職員の主体性や組織全体の一体感が一層高まることを期待されます。 | |
| | 経営層は実情を踏まえ重要案件を決定し、職員と共有して日々の運営を支えています 経営層は、行事運営や災害対応、衛生管理などの重要な案件について、昼礼や職員会議で共有される各クラスの状況や職員の意見を丁寧に把握し、実情に即した意思決定を行っています。決定した内容は、昼礼での口頭説明や会議録、掲示物などを通じて職員に周知しており、役割分担や担当制とも結びつけながら、日々の保育運営を安定させています。今後は、意思決定の経緯やねらいをより明確に言語化して共有することで、職員一人ひとりの理解がさらに深まり、主体的な参画の広がりが期待されます。 | |

| カテゴリー2 | | |
|--|---|---------------------------|
| 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 | | |
| サブカテゴリー1(2-1) | | |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 |
| 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | 6/6 |
| | | 評点(〇〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリ-2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリ-2の講評

利用者や地域の情報を多面的に把握し、課題の検討と保育の質向上に生かしています

保護者アンケートや個人面談、連絡帳などを通じて、保護者の意向や子どもを取り巻く状況を丁寧に把握し、日々の保育の見直しに生かしています。職員からの意見は、日常的な報告や相談を通じて経営層と共有し、必要に応じて法人本部とも連携しながら検討を進めています。また、区内の園長会議や地元地域の方々との情報交換により、地域の福祉ニーズや行政動向を把握し、園運営に反映させています。今後は、収集した情報を職員全体で整理し共有する方法をさらに工夫し、改善課題の検討をより深めるなど、保育の質向上につなげることが期待されます。

理念実現に向けた計画を策定し、法人本部と連携し園の保育運営に生かしています

理念やビジョンの実現に向けて、中・長期的な方向性と単年度の目標を位置づけた事業計画を策定しており、保育運営の基盤として活用しています。直近の事業計画は主任が中心となって作成し、食育や保健に関する計画も含めて整理され、日々の実践を支える枠組みが整えられています。事業報告書は法人本部職員がまとめ、園長日誌も毎日法人本部へ送付されていることから、連携体制も維持されています。今後は、作成された計画の位置づけや進捗状況を職員全体で共有する方法をさらに工夫し、計画と実践の結びつきをより明確にすることが期待されます。

事業計画に沿って日常保育を展開しつつ、実践状況の共有と見直しに取り組んでいます

理念やビジョンの実現に向けて策定した中・長期計画や単年度計画に沿って、主任を中心に日々の保育実践を進めており、食育や保健に関する取り組みも計画に位置づけながら実行しています。事業報告書や園長日誌は法人本部職員とも共有されており、法人との連携の中で実践状況を把握する仕組みも維持されています。一方で、計画の進捗や成果の振り返りについては、職員全体での共有が十分とは言えない面もあることから、定期的な話し合いや記録の整理などの方法を工夫し、計画と実践を結びつける意識をさらに高めていくことが期待されます。

| カテゴリ-3 | | |
|--|---|---------------------------|
| 3 経営における社会的責任 | | |
| サブカテゴリ-1 (3-1) | | |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2 |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。 | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ-2 (3-2) | | |
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリ-3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点(〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している | ○非該当 |

評価項目2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる | ○非該当 |

カテゴリ-3の講評

法令・倫理の周知と研修を通じて、職員の遵守意識の維持向上に努めています

社会人および福祉サービス従事者として求められる法令・規範・倫理について、就業規則や各種マニュアルに内容を明示し、採用時や年度初めの説明を通じて職員に周知する取り組みが継続されています。法人本部が作成したコンプライアンス資料も活用し、園内研修や会議の場で確認する機会を設けることで、職員が日常の保育場面で迷った際に判断しやすい環境づくりが進められています。また、看護師が講師となる研修を実施するなど、専門性を生かした学びの機会も確保されており、職員が安心して業務に取り組める体制が維持されています。

保護者の意向を多様な方法で把握し、安心して相談できる体制を構築・維持しています

個人面談や保育参観など、保護者と直接対話できる機会を継続的に設けており、子どもの様子や家庭での状況を丁寧に聞き取る姿勢が保たれています。日々の送迎時にも職員が積極的に声をかけ、保護者が気軽に相談しやすい雰囲気づくりに努めていることがうかがえます。寄せられた意見や要望は主任を中心に職員間で共有され、必要に応じて法人本部とも情報を交換しながら対応を検討しており、組織として保護者の声を受け止める体制が整えられています。こうした取り組みにより、保護者との信頼関係が生まれ、安心して相談できる環境が維持されています。

地域との交流機会を設け、情報発信と地域貢献の取り組みを意欲的に継続しています

地域との関係づくりに向けて、園長会や赤坂地区園長会へ継続的に参加し、行政や近隣園との情報交換を行うことで、地域の動向を把握する取り組みを続けています。園児の戸外活動では近隣の公園を積極的に活用し、地域の環境に親しむ経験を大切にしています。また、交通教室の実施や餅つき行事の開催により、地域の方々と交流する機会を設け、子どもや保護者が地域社会とつながる場を育んでいます。こうした継続的な取り組みが、地域に開かれた園づくりの推進に寄与しており、今後の地域連携の広がりも期待されます。

| カテゴリ4 | | |
|---|--|---------------------------|
| 4 | リスクマネジメント | |
| サブカテゴリ1(4-1) | | |
| リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる | | 評点(00000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ2(4-2) | | |
| 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | 評点(0000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | <input type="radio"/> 非該当 |
| カテゴリ4の講評 | | |
| <p>防災訓練や安全対策を継続し、職員と子どもの安全確保に向けた体制を維持しています</p> <p>防災体制の強化に向けて、毎月の避難訓練を継続して実施し、火災・地震・不審者対応など複数の場面を想定した訓練を行うことで、職員と子どもが落ち着いて行動できる環境づくりに努めています。訓練内容は主任が中心となって整理し、必要な改善点を次回に反映する姿勢が保たれています。また、事業継続計画(BCP)も作成されており、災害時の対応方針を明確にすることで、園としての安全管理の基盤が整えられています。こうした継続的な取り組みが、日常の保育における安全意識の向上につながっています。</p> <p>BCPを整備し、災害時の対応方針を明確にし継続的な安全管理体制を維持しています</p> <p>災害発生時の混乱を抑えることを目的として、事業継続計画(BCP)が主任を中心に整備されており、非常時に必要となる行動手順や連絡体制が具体的に整理されています。計画を明文化したことで、災害時の判断基準が明確になり、園としての対応方針が共有しやすい環境が整っています。また、毎月の防災訓練を継続して実施し、火災や地震など複数の状況を想定した訓練を行うことで、職員が緊急時の行動を具体的に理解しやすくなっています。こうした取り組みが、安全確保に向けた組織的な備えの充実につながっています。</p> <p>情報管理規定に基づく運用を徹底し、個人情報保護の質の向上に努めています</p> <p>個人情報保護に関する取り組みとして、法人が定めた情報管理規定に沿って書類やデータを適切に取り扱い、保育記録や個人情報の管理方法を明確にしています。職員は規定に基づいて日常業務にあたっており、情報の持ち出しや保管方法についても一定のルールが共有されています。また、園長日誌を法人本部へ毎日送付する仕組みが維持されており、情報の透明性と組織的な確認体制が確保されています。こうした取り組みが、利用者の情報を正確かつ丁寧に扱う姿勢を支え、園全体の信頼性を高める基盤として機能しています。</p> | | |

| 5 職員と組織の能力向上 | | |
|--|--|---------------------------|
| サブカテゴリ-1 (5-1) | | |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12 |
| 評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる | ○非該当 |

カテゴリ-5の講評

OJTを通じて日常の保育実践を丁寧に指導し、職員の業務理解を深めています

日常の保育実践において、散歩や生活場面の関わり方をその場で確認しながら指導するOJTが継続されており、経験の浅い職員が実践を通して学べる環境が整っています。主任が中心となって動線の確認や子どもの安全確保のポイントを丁寧に伝えており、職員が迷いや不安を抱えた際にも相談しやすい雰囲気が保たれています。また、園長が保育に入る機会も多く、現場の状況を把握しながら助言を行う体制が維持されています。こうした日常的な指導の積み重ねが、職員の業務理解の向上と保育の安定につながっています。

外部研修や看護師による専門指導を活用し、職員の知識向上に取り組んでいます

職員の専門性向上に向けて、外部研修の受講機会を確保し、必要に応じて参加を促す取り組みが続けられています。感染症対応や衛生管理については看護師が講師となり、最新の知識を共有する場を設けることで、日常の保育に必要な判断力を高める工夫が見られます。また、研修内容を職員間で共有する姿勢も保たれており、学びを組織全体に広げる意識が育っています。こうした取り組みが、保育の質を支える基礎的な知識の向上につながり、安心して業務に取り組める環境づくりに寄与しています。

職員評価や自己評価の仕組みを整え、振り返りを通じて成長を促す体制を整備しています

職員の成長を支える仕組みとして、自己評価シートを活用した振り返りの機会が設けられており、職員が自身の課題や強みを整理しやすい環境が整っています。個人面談の実施に向けた準備も進められており、職員が安心して相談できる場を確保する姿勢が保たれています。また、評価制度が整備されていることで、業務の進め方や役割分担を見直す視点が生まれ、組織としての方向性を共有しやすくなっています。こうした取り組みが、職員一人ひとりの成長を支える基盤となり、保育の安定と組織力の向上に寄与しています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保護者が安心して子どもを預けられる環境を整え、園児と職員が毎日笑顔で過ごす園づくりを、課題・目標として掲げました。この課題を設定した背景には、職員の定着が保護者の安心感につながり、その積み重ねが園児の安定した生活と成長を支えるという考えがありました。具体的な取り組みとして、子どもの生活リズムを丁寧に把握し、ありのままの姿を受け止める個別的な関わりを重視しました。また、基本的な生活習慣の形成や運動遊びの充実、友達との関わりを通じた社会性の育ちを支える保育を継続し、保育参加や個人面談を通して園の様子を保護者に伝える機会も設けました。さらに、日々の保育の中で職員同士が声を掛け合い、子どもの変化や気づきを共有することで、保育の一貫性を高める工夫も続けています。それらの取り組みの結果として、研修参加による知識の更新が職員の資質向上につながりました。振り返りとして、保護者との信頼関係を深めるためにコミュニケーションを大切に、今後の方向性としては、職員の思いや状況に寄り添いながら継続雇用と保育の質向上に取り組む方向性を確認しています。

| | |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりを重要課題として位置づけ、園児と職員が笑顔で過ごす日常を実現するための取り組みを継続してきました。子どもの生活リズムを丁寧に把握し、個々の姿を受け止める個別的な関わりを重視する姿勢は、乳幼児期にふさわしい保育の基盤として高く評価できます。また、基本的な生活習慣の形成や運動遊びの充実、友達との関わりを通じた社会性の育ちを支える保育を継続している点も、園児の健やかな成長に寄与しています。保育参加や個人面談を通じて園の様子を保護者に伝える機会を設け、家庭との連携を深めようと努めました。さらに、職員同士が日々の保育の中で声を掛け合い、子どもの変化や気づきを共有する取り組みは、保育の一貫性を高めるうえで有効に機能しています。研修参加による知識の更新が職員の資質向上につながっている点も前向きな成果です。一方、職員の定着に関する課題は依然として残っており、今後は職員の思いや状況に寄り添いながら、働き続けやすい環境づくりをさらに進めることが期待されます。これらの取り組みを継続し、保育の質向上と組織の安定化を図ることで、園の理念に沿ったより良い保育環境の実現が見込まれます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

職員が継続して働き続けられる環境を整え、地域に根付いた園として園児数の安定と増加を図ることを課題・目標として掲げました。この課題を設定した背景には、職員の入れ替わりが続いたことで保護者に不安を与えた経験があり、現在勤務している職員が力を合わせて園運営を支えている状況をより安定させたいという思いがありました。具体的な取り組みとして、職員の継続雇用を推進するために、働き方や職員の思いを受け止める機会を設け、日々の相談に応じながら職員が安心して働けるように配慮しました。また、園の魅力を地域に伝える取り組みを進め、園児の増員につながるように園の活動内容を充実させる工夫も行いました。取り組みの結果として、個々の事情による退職はあったものの、職員の思いや状況を受け止める姿勢が維持され、園としての支援体制を整える意識が高まりました。振り返りとして、職員が自身の経験や能力を自覚し、保育の質を高めるために研修へ参加する姿勢が見られたことを今後の強みとして捉えています。今後は、職員の考え方や受け止め方の違いを尊重しながら、互いに高め合える関係づくりを進め、継続雇用と保育の質向上の両立を目指す方向性を確認しています。

| | |
|------------------------|--|
| <p>目標の設定と 取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

本園は、職員が継続して働き続けられる環境づくりと、地域に根付いた園としての基盤強化を重要課題として掲げ、組織的な取り組みを進めてきました。職員の入れ替わりが保護者の不安につながった経験を踏まえ、働き方や思いを受け止める機会を設け、日々の相談に応じながら職員の気持ちに寄り添う姿勢を大切にしてきた点は評価できます。また、園の魅力を地域に伝える取り組みを進め、園児数の安定と増加を目指す姿勢も確認できました。こうした取り組みは、園の運営を支える職員の意欲向上や、園全体の一体感の醸成に寄与しています。取り組みの結果として、個々の事情による退職はあったものの、職員の状況を丁寧に受け止める体制が維持され、園として支援の在り方を見直す意識が高まった点は前向きな成果です。さらに、職員が自身の経験や能力を自覚し、保育の質を高めるために研修へ参加する姿勢が見られたことは、今後の組織力向上に向けた重要な基盤となります。今後の方向性としては、職員の価値観や受け止め方の違いを尊重しながら、互いに高め合える関係づくりを進め、継続雇用と保育の質向上の両立を図る取り組みが期待されます。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

| | | |
|-----|---|---------------------------|
| No. | 共通評価項目 | |
| | サブカテゴリ1 | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4 |
| | 評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している | 評点(0000) |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している | <input type="radio"/> 非該当 |
| | サブカテゴリ1の講評 | |
| | <p>落ち着いた保育環境を保ちながら、利用希望者へ丁寧に的確な園情報を伝えています</p> <p>園見学の対応を園長が中心となっており、利用希望者が知りたい内容を丁寧に説明する姿勢が保たれています。園内の保育環境を落ち着いた雰囲気の中で維持することを重視し、見学案内が子どもの生活に影響しないよう配慮した運用を続けており、見学者数は1日につき2~3名の範囲に収まっています。このような環境により、利用希望者は園内の様子を落ち着いて確認でき、質問もしやすい状況が整っています。また、園長と主任が連携して問い合わせに対応し、適切な情報提供を行う体制が維持され、園の特色や保育方針の理解促進につながっています。</p> <p>園見学時にパンフレットを活用し、利用希望者へ園の情報を明確に伝えています</p> <p>園見学の際に配布しているパンフレットには、園の概要や特色が整理されており、利用希望者が園の情報を持ち帰って確認できる仕組みが整っています。内容は求人情報を中心とした構成ではあるものの、園の雰囲気や取り組みを伝える資料として一定の役割を果たしています。また、見学時の説明と併せて資料として活用することで、利用希望者が園の理解を深めやすい状況がつけられています。こうした資料提供の工夫が、園の情報を分かりやすく伝える手段として機能し、利用希望者の判断を支える一助となっています。</p> <p>自治体の子育て支援情報を活用し、利用希望者が園情報を得やすい環境を整えています</p> <p>自治体が運営する子育て支援情報サイトに園の情報を掲載し、利用希望者が基本情報にアクセスしやすい状況を整えています。園見学の受け入れも継続して行っており、園内の保育環境を落ち着いた雰囲気の中で維持することを重視しながら、子どもの生活に配慮した案内方法が保たれています。また、園長または主任が問い合わせに対応し、利用希望者の疑問に迅速かつ丁寧に応じています。こうした取り組みが、園の姿勢や保育内容を分かりやすく伝える基盤となり、地域に開かれた園としての信頼形成を着実に支える要素となっています。</p> | |

サブカテゴリ-2

| | | | |
|--|--|----------------------|-----|
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 6/6 |
| 評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている | | 評点(000) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている | | 評点(000) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | ○非該当 | |

サブカテゴリ-2の講評

ICT連絡ツールを活用し、保護者と園との情報共有体制を整えています
 連絡帳アプリを活用し、入園初期から家庭と園が日々の情報を共有しやすい体制が整えられています。子どもの様子を写真とともに記録し、必要に応じて緊急連絡を発信できる仕組みが維持されており、家庭が園での生活を具体的に把握しやすい状況がつけられています。また、アプリを日常的に活用することで、家庭が子どもの変化を受け止めやすくなり、園とのコミュニケーションが円滑に進む基盤が形成されています。こうしたICT連絡ツールを取り入れた情報共有の取り組みが、家庭との信頼関係を深め、子どもの生活を支える連携の質を高めています。

家庭の状況と子どもの様子に合わせて、慣らし保育を柔軟に調整する体制を整えています
 慣らし保育は、新入園児面談の際に家庭の就労状況や復帰時期を丁寧に確認し、無理のない計画を立てる姿勢が保たれています。初日の子どもの様子を細かく観察し、その日の過ごし方や反応を踏まえて翌日の内容を調整するなど、個々の状況に応じた柔軟な対応が行われています。こうした段階的な進め方により、子どもが園生活に安心して慣れていける環境が整っています。また、家庭へその日の様子を丁寧に伝えることで、保護者が子どもの変化を把握しやすくなり、家庭と園が同じ方向を向いて支援できる体制が維持されています。

連絡帳アプリを活用し、入園当初から家庭と園が情報を共有しやすい体制を整えています
 入園当初から、保護者と園が日々の情報を連絡帳アプリを活用していることで情報共有しやすい体制が整えられています。子どもの様子を写真とともに記録し、必要に応じて緊急連絡も発信できる仕組みが維持されており、家庭が園での生活を具体的に把握しやすい状況がつけられています。また、入園時の説明でアプリの使い方を丁寧に案内しているため、家庭がスムーズに利用を開始できる点も評価できます。こうしたICTを活用した情報共有が、家庭との信頼関係を深め、子どもの生活を支える連携の基盤として機能しています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 13/13

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(000)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(00000)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目3

子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(00)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている | ○非該当 |

サブカテゴリー3の講評

保護者との対話と情報共有で、安心して預けられる保育環境づくりを推進しています

入園時の面談では保護者との対話を通じて、子どもの心身の発達状況や生活環境を詳細に把握し、個別に記録しています。これらの記録は園全体で共有され、連絡帳や送迎時の会話から得た新たな情報も随時個人記録に反映され昼礼で共有しています。職員全員が情報を共有する体制により、担任不在時でも柔軟な対応が可能です。月次ミーティングでは子どもの心身の微細な変化についても話し合い、保育に反映させることで、きめ細やかな支援を実現しています。こうした取り組みにより、保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりを目指しています。

保育計画と職員・保護者の連携による継続的な支援体制の構築と実践に取り組んでいます

指導計画は年間計画を基に、養護と教育が一体となった保育計画として策定しています。月案・週案・日案については、子どもの様子に応じて柔軟に見直し、全職員が閲覧できる体制を整えています。計画の内容は、クラス便りや個人面談、年2回の保護者会を通じて保護者に周知し、共通理解を深めています。また、アレルギーや個別の支援が必要な子どもには、面談や健康調査票を基に対応し、必要に応じて随時見直しを行っています。子どもの成長と発達を継続的に支援できる環境を整え、安心して過ごせる保育の実現に向けて日々取り組んでいます。

子どもの成長段階を踏まえた計画を職員間で共有し、安定した支援の提供に努めています

入園時には、家庭での状況を児童表に記載し、個別計画を作成しています。子どもの成育歴や発達状況、既往症、予防接種などを含めた全体像を把握し、必要な情報を職員間で共有しています。日々の保育では、降園時に子どもの園での様子(活動・食事・健康など)を、乳児は口頭と連絡帳、幼児は口頭で保護者に丁寧に伝え、心身の健康状態を共有しています。必要に応じて個別計画を随時見直し、昼礼やクラス会議で職員間で情報を共有することで、子どもに安定した関わりと適切な配慮ができるよう努めています。

| サブカテゴリー5 | | | |
|---|--|-------------------|-----|
| 5 | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 5/5 |
| 評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | ○非該当 | |
| サブカテゴリー5の講評 | | | |
| <p>ホームページやSNSにおける個人情報の取り扱いについて、慎重に対応しています</p> <p>園の様子を伝える手段としてホームページやSNSを使用していますが、その際個人情報についての配慮を行っています。ホームページに掲載する写真については、個人情報保護の観点から保護者のみがアクセス出来るよう鍵付きの状態でご公開しています。Instagramについては日々の活動の様子やイベント等を保護者以外にも広く公開していますが、使用する写真については基本的に子どもの顔はうつっていない後ろ姿のもののみ、もしくは手先のみのようなカットを使用しており、不特定多数の人に個人が特定できる写真が配信されないように配慮しています。</p> <p>プライバシー保護の一環として、安心して過ごせる環境と自尊感覚を育てています</p> <p>3歳児以上の子どもについては、着替えの際に男女で場所を分け、それぞれが安心して着替えられるよう視覚的な配慮をしています。他者の視線を気にせず落ち着いて過ごせる環境を整えることで、自然とプライバシーを守る意識を育てています。また、看護師からプライベートゾーンについての話をしてもらい、自分の体を大切にすることや、嫌なときは「いや」と伝える大切さを学ぶ機会を設けています。こうした取り組みを通して、安心して生活できる環境づくりと、性の自立や自己防衛の意識を育て、将来につながる大切な学びの機会を提供しています。</p> <p>環境や活動を調整することで、一人ひとりに寄り添う柔軟で丁寧な保育を実践しています</p> <p>少人数保育の良さを活かし、子ども一人ひとりの生活リズムや、その日の体調、気持ちを尊重した柔軟な保育を行っています。子どもが無理に集団の中に入ることを求めず、必要に応じて落ち着けるスペースを用意するなど、安心して自分のペースで過ごせる環境を職員全体で整えています。また、保護者から伺った家庭での様子や好きな遊び、興味のあることなどを保育に反映させ、子どもが心から楽しめる活動を計画しています。このように、職員が一丸となって子どもとの丁寧な関わりを大切にしながら、子ども一人ひとりに寄り添った保育を実践しています。</p> | | | |

サブカテゴリー6

| | | | |
|---|---|-----------------------|-----|
| 6 | 事業所業務の標準化 | サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 | 5/5 |
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 評点(000) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 評点(00) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | ○非該当 | |
| サブカテゴリー6の講評 | | | |
| <p>法人独自のマニュアルを活用し、業務の標準化と継続的な改善に取り組んでいます</p> <p>法人独自のマニュアルを活用し、日々の保育業務や事務作業を統一的に進められる体制が整えられています。年度末には職員への聞き取りを行い、業務の負担や改善点を丁寧に把握し、次年度に向けた見直しに反映する仕組みが維持されています。行事の進め方や役割分担についても意見交換を行い、職員が無理なく取り組める方法を検討する姿勢が保たれています。また、自治体基準の変更に合わせて保育指針の見直しを進めており、制度的な要請に応じた更新が着実に進められています。こうした継続的な改善の取り組みが、業務の標準化と質の向上を支えています。</p> <p>職員の意見を取り入れ、業務改善と行事運営の方法を見直す取り組みを推進しています</p> <p>年度末に職員への聞き取りを行い、業務で大変だった点や改善が必要と感じた内容を丁寧に収集する仕組みが維持されています。行事の進め方についても、職員間で意見を出し合い、より良い方法を検討する姿勢が保たれています。行事担当は輪番制で割り振られ、年間を通して2~3回担当が回る仕組みが整っており、職員全体で業務を支え合う体制が形成されています。こうした職員参加型の取り組みが、業務の標準化を着実に進めるだけでなく、職員一人ひとりが園運営に主体的に関わる土壌を育み、保育の質を安定的に高める基盤として機能しています。</p> <p>業務手順書とチェックリストを活用し、園内の安全確保と業務の統一化を図っています</p> <p>早番・遅番の業務手順をまとめた確認用ツールを事務所に配置し、どの職員が担当しても同じ手順で作業を進められる体制が整えられています。特に遅番では、危険箇所を洗い出すチェックリストを活用し、複数の職員が共通の視点で安全確認を行う仕組みが維持されています。こうした手順書とチェックリストの併用により、業務の抜け漏れが生じにくくなり、園内の安全性が安定的に確保されています。また、職員が日常的に手順を確認していることで、経験年数に関わらず一定の質で業務を遂行できる状況が保たれ、業務の標準化に着実につながっています。</p> | | | |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

| | | サブカテゴリ-4 | |
|--|--|------------------|-------|
| サービスの実施項目 | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 36/36 |
| 1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている | | 評点(〇〇〇〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している | ○非該当 | |
| 評価項目1の講評 | | | |
| <p>子ども一人ひとりに丁寧に向き合い、環境の整備と異年齢交流で主体性を育んでいます</p> <p>職員は、子ども一人ひとりの姿を把握し、丁寧に向き合っています。保育室の環境は、子どもの成長段階や視点に配慮して整備しており、乳児クラスでは自ら活動しやすいようコーナーを少なめに配置し、幼児クラスでは興味や関心に応じてじっくり遊べるよう複数のコーナーを設けるなど、工夫を凝らしています。また、異年齢交流を通じて、年齢の違う子ども同士が関わり合いながら学び合える機会も大切にしています。子どもに寄り添いながら見守る保育を心がけ、子どもが自ら考え、選び、活動することを通して、自主性や主体性が育まれるよう努めています。</p> <p>文化や特性に配慮し、情報共有と連携で安心できる保育環境を整備しています</p> <p>地域の特性上、外国籍の子どもも多く在籍しているため、文化や生活習慣の違いがある子どもや、特別な配慮が必要な子どもが安心して園生活を送れるよう、面談では保護者から丁寧に話を伺っています。必要に応じて、専門機関や区と連携し、保護者への情報提供などの支援も行っています。職員は、個別記録や毎日の昼礼、職員会議を通じて常に情報を共有し、個別支援を行うことで、きめ細やかな保育の提供に努めています。また、子どもの背景や特性を職員間で理解し合い、互いに支え合うことで、より温かく受け入れる姿勢を育んでいます。</p> <p>異年齢交流や合同保育を通じて、子ども同士が自然に社会性や協調性を育んでいます</p> <p>朝夕の延長保育時間帯には、全クラスが同じ空間で過ごしています。また、合同保育を取り入れ、お誕生日会や散歩などの活動でも異年齢で交流できる保育を実施しています。活動中の自然な関わりの中で子どもたちは互いを認め合い、年上の子への憧れや模倣の気持ち、年下の子への思いやりや手本となる行動などを自然に育んでいます。職員は子どもの様子を丁寧に見守りながら、年齢の枠を超えた関わりを通して、社会性や協調性が育まれるよう日々取り組んでいます。こうした異年齢での関わりは、子どもたちの豊かな人間関係の形成にもつながっています。</p> | | | |

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | ○非該当 |

評価項目2の講評

保護者の思いに寄り添い、登降園時の情報共有とコミュニケーションを大切にしています

登園時の受け入れでは、職員が保護者との会話や連絡帳を通じて、家庭での様子や食事・睡眠・排泄・健康状態などを丁寧に確認しています。保護者からの連絡事項や意向は個人記録に記入し、口頭での伝達に加えて昼礼でも共有することで、情報の漏れがないよう努めています。また、園での様子を詳しく知りたいという保護者の思いに寄り添い、子どもの一日の様子を細かく連絡帳に記録し、降園時には直接丁寧に伝えることで、保護者とのコミュニケーションを大切にしています。こうした取り組みは、保護者からも高く評価されています。

子ども一人ひとりに寄り添い、柔軟な対応と家庭との連携による保育に取り組んでいます

職員は、発達記録や日々の子どもの様子を丁寧に把握し、看護師や栄養士と連携しながら、一人ひとりに合わせた柔軟な声かけや対応を心がけています。子どもの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせる環境づくりにも力を入れています。年齢による枠にとらわれず、目の前の子どもの姿から課題を見極め、必要な援助内容を検討しながら、生活習慣の確立を目指しています。トイレトレーニングについては、保護者の意向を尊重し、家庭と連携しながら無理なく身につけられるよう進めています。また、子育てに関する相談にも随時対応し、支援へと繋げています

「静」の時間を重視した入眠支援と家庭との連携を通じて、生活リズムを整えています

子どもが安心して落ち着いて入眠できるよう、昼食後は「静」の環境づくりに努め、一人ひとりが穏やかな気持ちで休息できるよう配慮しています。入眠前には、優しい声かけや穏やかな雰囲気づくりを心がけ、安心感を持って横になれるよう支援しています。家庭での生活リズムにも配慮し、子どもたちが快適に一日を過ごせるよう工夫しています。また、年長児には小学校生活を見据え、徐々に午睡の時間を減らすなど、発達段階に応じた対応を行っています。静かな環境の中で、子どもたちは自分のペースで心身を休める時間を持つことができます。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | ○非該当 |

評価項目3の講評

安心して過ごせる保育環境の工夫と、主体性を育む空間づくりに取り組んでいます

保育環境は、子どもの発達段階に応じた配慮が随所に見られ、安心して過ごせる空間が整えられています。0歳児クラスでは、十分なハイスペースが確保されており、ベランダに隣接していることで自然の風を感じながら心地よく過ごすことができます。調乳室には窓があり、調乳中でも保育室の様子を確認できるなど、安全性と見守りの両立が図られています。1・2歳児および3～5歳児のクラスでは、コーナー保育が充実しており、子どもたちは興味に応じて遊びに集中できる環境の中で、自ら選び、考え、行動する経験を重ね、主体性が育まれています。

戸外活動を通じて季節や自然を感じ、地域資源を活用し子どもの生活の幅を広げています

近隣にはさまざまな公園や豊かな地域資源があり、天気の良い日には戸外活動に出かけています。屋上テラスも活用し、気分転換や夏場の水遊びを思いきり楽しんでいます。合同保育で活動することも多く、年長児が年少児に優しく教える姿も見られます。公園を散策しながら自然に触れ、交通ルールや公共の場でのマナーを学ぶ機会にもなっています。戸外活動は、子どもの心身の健やかな発達に欠かせないものであり、職員はその活動がより豊かに広がるよう工夫しています。こうした体験を重ねる中で、子どもたちは自然と社会性を身につけています。

異年齢が交流する機会を園の活動の中で設け、お互いに思いやる気持ちを育んでいます

広々とした玄関をはじめ、子どもたちの生活の場として工夫や配慮が十分に施された園舎では、日々の生活の中で異年齢の子どもたちによる交流が盛んに行われています。廊下や階段ですれ違う場面も多く、幼児は自然と「お手本になりたい」という気持ちを抱き、乳児は幼児に憧れたり、見習いたいという思いを持ちます。こうした日常的な関わりを通して、互いに思いやりの心が育まれています。また、延長保育の時間には異年齢による合同保育を行っており、共に過ごす中で、子どもたちは自然と社会性や協調性を身につけられるよう取り組んでいます。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | ○非該当 |

評価項目4の講評

遊びを通じて季節の行事の魅力伝え、子どもたちは楽しさや新しい発見を感じています

季節ごとの伝承行事に加え、運動会、クリスマス会、七夕など、様々な行事に取り組んでいます。七夕では、子どもたちが制作した飾りを玄関に吊るし、保護者にも活動の様子が伝わるよう工夫しています。それぞれの行事では、子どもたちが主体的に関われるよう、楽しみながら学べる環境づくりを心がけ、日々の活動とのつながりを大切にしています。興味や関心、発達状況などを踏まえて計画・実施しています。伝承行事では、由来や目的をわかりやすく伝え、季節の移り変わりや日本の伝統・文化に触れながら、遊びを通してその魅力を受け継いでいます。

季節の伝統行事や様々な体験を通して、楽しさや達成感を感じることを大切にしています

共通の目標に向かって、子どもたちが協力してやり遂げることを大切にしています。乳児クラスでは、みんなで一緒にリトミックや体操をする中で、楽しさや一体感を味わえるよう支援を行っています。幼児クラスでは、みんなで意見を出し合い、話し合う機会を設けています。職員は、子どもたちの意見をより具体的にイメージにつなげ、発想をどのような形で実現していくかを一緒に考えながら支援を行っています。子どもたちが主体となり、達成感を味わいながら成長できるようつなげ、自分の思いを伝える力や相手を思いやる心を育てています。

保護者との連携を深めるため、行事運営とフィードバックの活用に取り組んでいます

保護者参加の行事も含め、年間行事計画は4月に配布し、毎月のお便りでも行事予定をお知らせしています。保護者が参加する主な行事には、運動会、クリスマス会、親子遠足、餅つきなどがあります。それぞれの行事では、子どもたちの成長や笑顔を間近で感じていただける機会となっています。餅つきは12月の後半に行い、鏡餅にして持ち帰っていただくなど、保護者の皆様にも好評です。行事の終了後や年度末には、保護者の方々にアンケートを実施し、ご意見やご感想を伺い次回以降の行事の参考とし、より良い内容となるよう改善に努めています。

| 5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている | | 評点(〇〇) |
|---|--|--------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | ○非該当 |

評価項目5の講評

安心してゆったりと過ごせるように、室内の環境や子どもへの関わり方を工夫しています

延長保育の時間帯は、合同で保育を行っています。普段から異年齢の交流が盛んに行われているため、子どもたちは担任以外の職員とも深く関わりを持ち、安心して過ごせる環境が整っています。また、子どもの情緒面への配慮として、コーナーを設けて好きな本を読んだり、好きな遊びに集中できるよう工夫しています。不安を感じる子どもには、スキンシップを多く取るなど、安心して過ごせるような関わりを心がけています。さらに、乳幼児が同じ空間で過ごす際には、危険な箇所を見直し、双方が安全に過ごせる環境づくりに努めています。

子どもたちが楽しく過ごせるよう、活動内容や環境設定に工夫と変化を取り入れています

保護者の就労状況などに応じて、延長保育を実施しています。延長時間帯は、普段からの合同保育の効果もあり、子ども同士が自然に交流する姿が見られます。それぞれの遊びの中で、幼児が乳児に遊びを教えたり、面倒を見たりする微笑ましい場面も多く見受けられます。また、園児数や年齢に応じて保育室を変更したり、特別な玩具を用意することで、子どもたちが飽きずに楽しく過ごせるよう工夫しています。子どもの様子や保護者からの連絡事項は個別記録や昼礼で職員間で共有しており、保護者の安心感にもつながっています。

| 6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している | | 評点(〇〇〇〇〇) |
|--|---|-----------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている | ○非該当 |

評価項目6の講評

野菜栽培を通じ、子どもたちが成長を楽しみながら食への関心と感謝の心を育てています

施設の屋上は広々としており、夏場には子どもたちが思いきり水遊びを楽しめるよう、シャワーなどの設備も整えています。その広いスペースを活かして、今年はトマト、ナス、ピーマン、枝豆、ゴーヤなどの夏野菜をプランターで栽培し、子どもたちと一緒に水やりや観察しながら育てました。野菜が少しずつ大きくなる様子が驚いたり、花が咲いたことを喜んだり、日々の成長を楽しみにする姿が見られました。収穫の際には「自分で育てた!」という達成感を味わい、食べることへの興味や感謝の気持ちも育まれ、食への関心がより深まっています。

入園前の確認と職員会議で情報を共有し、安全な食事と食育活動につなげています

安全で安心な食事を提供するために、入園前の面談では、家庭での生活状況や食物アレルギーの有無、入園までに食べてほしい食材などについて丁寧に説明しています。アレルギー対応では、園長・栄養士・担任の三者で確認を行うトリプルチェック体制をとり、人的ミスが起きないよう細心の注意を払っています。さらに、栄養士は子どもの食事の様子を、食べる量や好み、食具の使い方など多角的に観察し、毎月の給食会議やアレルギー会議、離乳食会議で情報を共有。献立の見直しや調理上の課題を話し合い、今後の食育活動へとつなげています。

栄養士が中心となり、体験を通じて食への関心や感謝の心を育む食育を実践しています

栄養士を中心に、「食」に関する知識や、食べ物を選ぶ力の土台を育むことを目的として、さまざまな体験を取り入れた食育の計画を立て、実践しています。年齢や発達段階に合わせて「野菜の皮むき」「わかめづくり」「スイカ割り」など、工夫をこらした内容で食育に取り組んでいます。活動を通じて、子どもたちは食材に触れる楽しさや、調理の面白さを自然と感じ取っています。食事を通して「食べることへの関心」や「感謝の心」を育てたいと考えており、子どもたちが自分たちで関わった給食をよりおいしく感じられるように、日々活動を行っています。

| | | |
|------------------------------------|--|---------|
| 7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | ○非該当 |

評価項目7の講評

保護者への情報共有や午睡チェックの徹底など、安全と健康への配慮に努めています

園では、保護者の健康や保健への意識向上を目指し、行政の子育て相談や関連情報を玄関に掲示するなど、積極的に情報共有に努めています。感染症が流行した際には、掲示や「ほけんだより」を通じて速やかに保護者へお知らせしています。また、乳児突然死症候群の予防として、仰向け寝の徹底に加え、乳児は5分に1回、幼児は10分に1回の午睡チェックを欠かさず行い、記録を取りながら安全管理に取り組んでいます。園・保健所・行政からの情報を保護者と共有することで、安心感につながり、子どもたちの安全と健康を第一に支援しています。

習慣の積み重ねや丁寧な援助により、子どもが健康と安全に関心を持ち行動しています

毎日の習慣を繰り返すことで、子どもが自分の健康や安全に自発的に関心を持ち、行動できるよう、園全体で取り組んでいます。保育活動では、水分補給や手洗い、鼻のかみ方など、子どもが自分で考え行動できるような援助を心がけています。また、事故防止に向けてはケガをすると痛いこと、玩具を片付けないと危ないこと、廊下や室内で走るとケガに繋がること、体調が悪い時には大人に伝えることの大切さなどを、言葉かけや絵本を通して伝えています。こうした日々の積み重ねにより、子どもたちは自分の健康に興味や関心を持つようになっています。

看護師・嘱託医との連携に加え、職員の意識向上にも努めた体制が整っています

嘱託医との連携を密にし、良好な関係を築いています。健康診断は、0歳児は月2回、1・2歳児は月1回、幼児は半年に1回、歯科検診は年1回実施しており、結果は健康カードに記入し、保護者と共有しています。園には看護師が在籍しており、発疹など職員だけでは判断が難しい場合には、視診や対応の仕方を教えてもらいながら、嘱託医とも連携して適切な判断・対応を行っています。いざという時にもスムーズに動ける体制を整えています。また、職員は消防署による「救命講習会」に参加し、救命技術の習得と意識の向上に努めています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している | ○非該当 |

評価項目8の講評

保護者1人ひとりに寄り添い信頼関係を築くため、面談や相談体制を整えています

園では、保護者との信頼関係を大切に、年に2回の個人面談を実施しています。面談では、園での様子や成長の姿を丁寧に伝えるだけでなく、家庭での様子や子育ての悩み、心配ごとにもじっくりと耳を傾けています。常に傾聴の姿勢を大切にし、保護者の思いを受け止めながら、1人ひとりに寄り添った丁寧な対応を心掛けています。また、保護者の都合や気持ちに合わせ、面談の時期に限らず随時相談ができる体制を整えています。家庭と園が協力し合い、子どもたちが安心して健やかに成長できるよう、日々信頼関係づくりに努めています。

保護者同士の交流や、保護者との共通認識を得られるような取り組みが行われています

園では、保護者同士が交流をすることが出来る場の1つとして、年に1回の保育参観を実施しています。保育参観では、保育に参加することも出来るようになっており、日頃の子どもの様子を見ていただくだけでなく実際に子どもたちと関わることで、保護者の養育力の向上や発達理解にも繋がっています。また、職員を交えて話し合う時間を設け、園での生活や成長の姿を共有することで、園での生活等に関して共通認識を得られるよう工夫しています。集団だけではなく、個別で話す時間も作ることで各保護者に寄り添えるよう工夫しています。

保護者と子どもの成長を共有し、理解を深められるように工夫して取り組んでいます

保護者と子どもの成長や発達について共通の理解を持ちながら見守っていけるよう、さまざまな方法で情報共有を行っています。保護者会では、現在の子どもの姿や園での生活の様子を写真やエピソードを交えて伝え、保護者の方がクラスの様子や成長の過程を具体的にイメージできるようにしています。また、日々の連絡帳やお便りを通して、子どもの小さな変化や活動中の姿、友だちとの関わりなどを丁寧に伝えています。さらに、玄関ホールに年齢ごとの吊るし飾りを飾ることで発達の見通しを付けられるようにする等、環境面でも工夫されています。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | ○非該当 |

評価項目9の講評

地域での活動や交通学習を通して、子どもの生活の幅を広げています

近隣には公園や神社、区民センター、商業施設等があり、発達やねらいに合わせて散歩先を決めています。5分程度で到着する公園もあれば、30分程度必要な広場もあり、活動内容や子どもの体力に応じて選択しています。また、商業施設に園で育てている亀のエサを購入しに行くような、買物を体験する機会もあります。どこの場所にも移動するにしても、地域柄交通量が多く、道路を横断することもあるため、交通ルールを伝えています。様々な経験、交流から子どもたちの生活の幅が広がる取り組みを行っています。

消防や警察との交流や講習会を通して、安全な保育と地域とのつながりを深めています

安全な保育の提供のため、毎年消防署による救命講習会を依頼し、職員は心肺蘇生やAEDの使用方法等の確認・安全への意識向上を行っています。その際消防車で来園して下さるため、子ども達が消防署職員と交流をすることが出来たり、消防車の助手席に乗らせてもらったり、写真を撮らせてもらったりと、普段体験することが出来ない体験をする機会も創出しています。また、警察官に来園してもらい交通ルールを学ぶ安全教室も開催しており、お巡りさんの話を聞いたりDVDを見るなどし、地域との繋がりと共に安全に対する意識向上に繋がっています。

子ども達の体験に広がりを作るよう、地域と交流できる行事を積極的に実施しています

行事は、子ども達が保護者だけでなく地域の方とも交流出来る場が作れるように取り組んでいます。運動会やクリスマス会等の保護者が参加する行事のみならず、年末のお餅つきイベントでは、子育て支援も兼ねて地域の方にも参加していただけるよう間口を広げ、鏡餅を作って持ち帰っていただきました。また、勤労感謝の日には園医や公園の管理事務所、警察署や消防署、地下鉄の駅員さん等に子ども達が作ったプレゼントを届けに行き、感謝の気持ちを伝える等、保育の中で地域の方との関わりを作り、交流する機会を作れるように色々な工夫しています。

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|--------------------|--|--|
| 評価項目 | 6-4-2 | 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている |
| タイトル① | 子どもの気持ちや体調に合わせて環境や活動を柔軟に調整しています | |
| 内容① | 一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添うよう、子どもが集団に入りたくない意思表示をしている場合には、活動内容や時間の調整を行ったり、合同保育に活動内容を変更したり、ゾーニングを行って落ち着ける場所を提供する等、状況に合わせた対応をしています。また、体調面で配慮が必要なことがあれば、保育室に設置する玩具の種類を見直す等の対応をすることで安心安全で適切な保育を提供出来るよう工夫をしています。様子については昼礼等の機会職員間で共有し、他クラスの協力が必要な場合でも連携がとれるような態勢を整えています。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② | | |
|--------------------|---|-------------------------------|
| 評価項目 | 6-4-4 | 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している |
| タイトル② | 季節の行事に加え、子どもたちの生活の幅を広げるような活動も積極的に実施しています | |
| 内容② | 季節の行事や運動会などを通して、子どもが楽しみながら学べる環境づくりを行っています。七夕では、子どもたちが作った飾りを玄関に吊るし、短冊に願いごとを書いて保護者と一緒に季節の風情を感じられるよう工夫しています。餅つきでは、子どもたちが杵を持ってぺったんぺったんとつき、鏡餅にして持ち帰るなど、家庭でも伝統を味わえる機会となっています。保護者参加の行事も充実しており、活動の様子を共有しながら、アンケートでの意見をもとに内容の改善にも取り組んでいます。子どもも保護者も、行事を楽しみながら参加しています。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | | |
|--------------------|--|--|
| 評価項目 | | |
| タイトル③ | | |
| 内容③ | | |

| No. | 特に良いと思う点 | |
|-----|--------------|--|
| 1 | タイトル | 一人ひとりの子どもの姿を丁寧に受け止め、日々の生活に寄り添いながら、安心感と信頼感を育む保育を継続して実践しています |
| | 内容 | 子どもの年齢や発達の段階だけでなく、その日の体調や気持ちの揺れを丁寧にくみ取りながら、生活リズムに合わせた関わりを心がけて日々の保育が実践されています。食事や午睡、遊びの場面でも、子どもが安心して過ごせるように声かけや環境の調整を行い、無理がなく一人ひとりの子どものペースで園での生活ができるように配慮しています。また、保護者とのやり取りを通して家庭での様子も共有し、園と家庭が同じ方向を向いて子どもを支えていく姿勢が保たれています。これらの取り組みの積み重ねが、子どもの安心感と信頼感を育む基盤となっています。 |
| 2 | タイトル | 一人ひとりの子どもの姿を丁寧に受け止め、日々の生活に寄り添った保育を継続し、信頼感を育み安心して過ごせる関わりを大切にしています |
| | 内容 | 保育室や園庭の環境整備に継続して取り組み、子どもが見通しを持って過ごしやすいレイアウトや遊びのコーナーづくりを工夫している様子が見られます。安全面では、危険個所の点検やチェックリストによる確認を行い、日常的にリスクを意識した環境管理が行われています。また、清潔さを保つことを大切にしており、衛生面への配慮が日々の保育の中に位置づけられています。家庭的な雰囲気を意識した空間づくりや、子どもが落ち着いて過ごせるスペースの確保に努めていることから、子どもが安心して生活できる場としての機能が着実に高められています。 |
| 3 | タイトル | 野菜栽培を通して、子どもたちは自然とふれあいながら感性を育み、収穫の喜びを味わう中で、命の大切さや食への関心を深めています |
| | 内容 | 施設の屋上にはシャワーや水道が整備されており、夏場には子どもたちが思いきり水遊びを楽しめる環境が整っています。その環境を活かし、トマト、ナス、枝豆、ゴーヤなどの夏野菜をプランターで栽培しました。子どもたちは水やりや観察を通して植物の成長に興味を持ち、毎日の変化を楽しみにしながら自然とふれあう中で、豊かな感性が育まれています。収穫の際には「自分で育てた！」という達成感を味わい、野菜への興味や感謝の気持ちも芽生えました。食材の大切さや命のつながりを感じるきっかけとなり、食への関心がより深まっています。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | 園の魅力が地域により伝わるよう、保育の目的や意図、子どもの育ちの姿、期待される育ちなどを添えた情報発信の内容の充実が期待されます |
| | 内容 | ホームページに保育理念や保育目標、施設環境の特徴を明示し、写真共有アプリで行事の様子を紹介するなど、園の取り組みを地域に伝える取り組みがあります。しかしながら、利用数が定員に達しない状況が続いており、園の魅力が地域に十分に伝わっていないことがうかがえます。写真を掲載する際に、保育の目的や子どもの姿から得られた気づき、期待される育ちなどを添えるなど、園の保育の価値がより伝わりやすくする工夫が望まれます。地域の子育て家庭に園の特色を理解していただき、入園検討につながる情報の発信に努めることが期待されます。 |
| 2 | タイトル | 運営体制が不安定な状況のもとで、保育を支えてきた職員の尽力を基盤に、今後の運営体制の安定と保育の質の維持・向上が期待されます |
| | 内容 | 複数年にわたり現場を支えてきた職員が中心となり、体制が落ち着きにくい状況の中でも日々の保育を途切れさせることなく継続している点は、園の運営を支える大きな原動力となってきました。そのような状況のもと、園の運営方針や必要な情報が現場に十分に共有されない場面があり、業務の進め方が不安定になりやすい状況がうかがえます。今後は、園の状況に精通した職員が中心となって運営が進むことで、方針や情報が職員に適切に伝わり、共通認識を持って業務に取り組める体制が整い、組織運営の安定と保育の質の維持につながることを期待されます。 |
| 3 | タイトル | 職員が安心して意見を出し合い学び合える環境を整えることで、専門性の向上と保育の質の維持・向上につなげていくことが期待されます |
| | 内容 | 主任を中心に日々の保育が継続して提供され、子どもの生活が大きく乱れないよう支えている点は重要な強みです。一方で、職員一人ひとりの専門性を高めたり、意欲を維持したりする仕組みについては、さらに整理していく余地があると考えられます。職員が安心して意見を出し合い学び合える環境が整うことで、保育内容の充実や新たな工夫が生まれやすくなると考えます。今後は、研修や振り返りの機会を計画的に設けるなど、職員の成長を支える人材育成の取り組みを進めることで、保育の質の向上につなげていくことが期待されます。 |